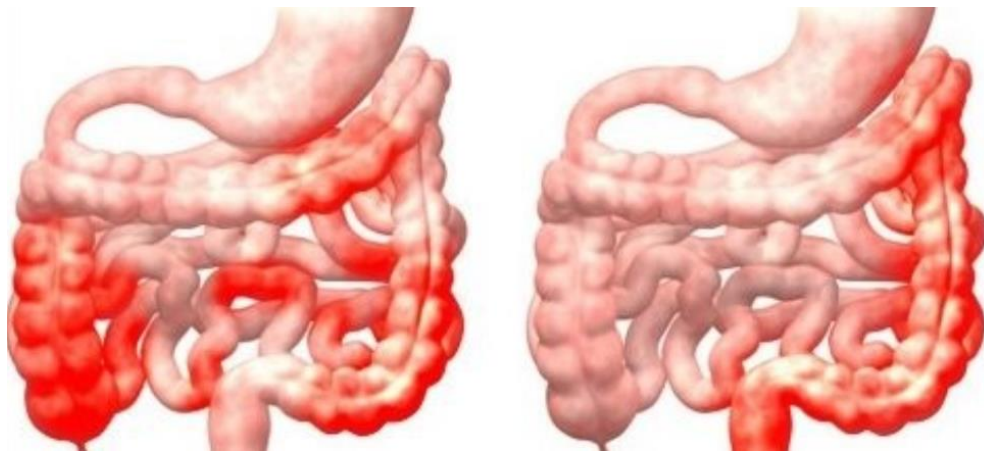


炎症性腸疾患の新しい診断補助薬と大腸内視鏡検査

積水メディカルは、炎症性腸疾患の活動期の補助判定に用いる体外診断用医薬品としてナノピア LRG の承認を取得したと発表しました。



血清マーカーによる炎症性腸疾患に対する初の体外診断用薬で、血清中の炎症性タンパクであるロイシンリッチ α 2 グリコプロテイン (LRG) をラテックス免疫比濁法により約 10 分で測定し、炎症性腸疾患の活動期の補助判定を可能にします。



それにより、大腸内視鏡検査を行わずに活動期の兆候を判断し、早期治療につなげることが可能になります。